

[重要なお知らせ]

管理サーバ(SVP)、管理クライアントとして Windows11 バージョン 24H2 以降の PC を使用する際の 問題について

2025 年 2 月

日立ヴァンタラ株式会社

1. 概要

Windows11 バージョン 24H2 以降をクリーンインストールした PC に対して、下記の問題があります(バージョン 24H2 未満から 24H2 以降へのバージョンアップは対象外となります)。

- ・ SVP マイクロプログラムをインストールした場合、管理サーバ(SVP)の IP アドレスが設定できない、登録した装置サービスが起動(Ready)にならない。
- ・ 管理クライアントに Storage Device Launcher のインストールができない。

2. 重要度

重要

3. 発生頻度

高

4. 現象

Windows11 バージョン 24H2 以降をクリーンインストールした PC では WMIC 機能が無効化されているため、WMIC 機能を使用している SVP マイクロプログラムで下記の現象が発生します。

<管理サーバ(SVP)の場合>

- ・ ストレージ管理ソフトウェアのインストールが完了後、Environmental Settings ツールが起動し、管理サーバ(SVP)の IP アドレス入力画面にて IP アドレスを入力し「Apply」しても終了しない。
- ・ ストレージシステムのサービスが Ready にならない。ストレージシステムサービスのモジュール毎の状態一覧を表示した場合、BASE、SMI-S 以外のモジュールが Error となり、Communication:TRCOMM000017、RMI-API Server [KeyValue]:TRRMIS002513、External Authenticater:TREXAU000011、Web Application Server:TRSTNA000011、RMI-API Server [Interface]:TRRMIS001999、Storage Navigater:TRSTNA001008 と異常終了や強制停止された事を示すトラブルシュートコードとなる。

<管理クライアントの場合>

- ・ 管理サーバ(SVP)上のダウンロードページから管理クライアントに、Storage Device Launcher のセットアップファイルをダウンロードし、インストールを実施してもデスクトップとスタートメニューに [Open Storage Device Launcher] が作成されない。

5. 対象製品

<管理サーバ(SVP)の場合>

Hitachi Virtual Storage Platform G100/G200/G400/G600/G800/F400/F600/F800

Hitachi Virtual Storage Platform G130/G150/G350/G370/G700/G900/F350/F370/F700/F900

Hitachi Virtual Storage Platform E990

<管理クライアントの場合>

Hitachi Virtual Storage Platform G100/G200/G400/G600/G800/F400/F600/F800

Hitachi Virtual Storage Platform G130/G150/G350/G370/G700/G900/F350/F370/F700/F900

Hitachi Virtual Storage Platform E390/E390H/E590/E590H/E790/E790H/E990/E1090/E1090H

Hitachi Virtual Storage Platform G1000/G1500/F1500

Hitachi Virtual Storage Platform 5100/5500/5100H/5500H、5200/5600/5200H/5600H

6. 発生条件

<管理サーバ(SVP)の場合>

以下の①、②全ての条件に合致した場合、現象が発生します。

① Windows11 バージョン 24H2 以降をクリーンインストールした PC

② 以下の SVP マイクロバージョンをインストール

【Hitachi Virtual Storage Platform G100/G200/G400/G600/G800/F400/F600/F800】

83-05-51-XX/XX 以降

【Hitachi Virtual Storage Platform G130/G150/G350/G370/G700/G900/F350/F370/F700/F900】

88-08-11-XX/XX 以降

【Hitachi Virtual Storage Platform E990】

93-06-81-XX/XX 以降

<管理クライアントの場合>

以下の①、②全ての条件に合致した場合、現象が発生します。

① Windows11 バージョン 24H2 以降をクリーンインストールした PC

② 以下の SVP マイクロバージョンから、Storage Device Launcher のセットアップファイルをダウンロードしてインストール

【Hitachi Virtual Storage Platform G100/G200/G400/G600/G800/F400/F600/F800】

83-05-51-XX/XX 以降

【Hitachi Virtual Storage Platform G130/G150/G350/G370/G700/G900/F350/F370/F700/F900】

88-08-11-XX/XX 以降

【Hitachi Virtual Storage Platform E390/E390H/E590/E590H/E790/E790H/E990/E1090/E1090H】

93-06-81-XX/XX 以降

【Hitachi Virtual Storage Platform G1000/G1500/F1500】

80-06-87/XX 以降

【Hitachi Virtual Storage Platform 5100/5500/5100H/5500H、5200/5600/5200H/5600H】

90-08-81/XX 以降

7. 回避方法について

管理サーバ(SVP)、管理クライアントに対して、下記の手順を実施して WMIC 機能を追加後、インストールをお願い致します。

1. Windows の [スタート] を右クリックして [設定] を選択します。[設定] 画面が表示されます。
2. [設定] 画面の左メニューの [システム] をクリックします。
3. [設定] 画面の右メニューの [システム] - [オプション機能] をクリックします。[設定] 画面の右メニューに [オプション機能] 画面が表示されます。
4. [オプション機能] 画面の追加された機能一覧に「WMIC」が存在するか確認します。
「WMIC」が存在する場合は、[設定] 画面を閉じて、操作を終了します。
「WMIC」が存在しない場合は、次の手順に進んでください。
5. [オプション機能を追加する] - [機能を表示] をクリックします。[オプション機能を追加する] 画面が表示されます。
6. [オプション機能を追加する] 画面で [WMIC] をチェックして [次へ] をクリックします。
7. 追加される内容に「WMIC」が表示されていることを確認し、[追加] をクリックします。

8. 対策

WMIC 機能を使用しないよう修正します。

9. 更新履歴

2025 年 2 月 この情報ページを新規作成および発信しました。

・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。